



街場の “てつがく” はじめませんか？

「哲学」って、難しそう？とっつきにくそう？
そんなことはありません。

考えるコツや姿勢を身につけることで、
それまで気づかなかったことに気づいたり、
世界がぱっと広がったり、自分が揺さぶられるような
発見をしたり…それが哲学の力です。

そんな「哲学する」中でも、多様な人々との対話について
たのしく学ぶ場「てつぷらゼミ」。
専門知識は一切必要ありません。

第1回目は、全国で広く開催され、どんな方でも参加可能な
「哲学カフェ」の対話について学んでいきます。
参加者同士の対話を促し考えを深める「進行役」になる
ために必要な姿勢やコツを一緒に学んでみませんか？

暮らしの中の疑問や違和感を
いるんな人と考えたい！
ファシリテーションや多様な
コミュニケーションに興味がある！
対話の場づくりをやってみたい！
そんな方におすすめです

主催・企画・運営 **てつぷら岡山**
岡山ESDプロジェクト参加事業

全5回連続講座 講師 松川絵里(哲学者)

導入 8/19Sun 哲学カフェのつくりかた

基礎 9/30Sun 考えを理解するための質問力1

基礎 10/28Sun 考えを理解するための質問力2

基礎 11/24Sat 対話の地図の描きかた

実践 2/23Sat 哲学カフェの進行をしてみよう！

哲学対話をまなぶ5日間 少人数制ゼミ

① 哲学カフェの作り方

8/19Sun 14:00~17:00
ゆうあいセンター 中会議室

年齢や職業など立場の違いを超えて参加者同士が対等に話し合い、対話を通して思考を深める哲学カフェ。参加者の主体性を引き出すためのテーマ選びや進行のポイントとは？
また、哲学対話とその他の対話の違いとは？哲学カフェの特徴や必要条件についてレクチャーで学んだあと、実際にテーマづくりから哲学カフェを体験します。
最後に、哲学カフェをふりかえりながら、進行役の視点を学びましょう。

相手の考えを理解し、共に思考を深めるために、重要な役割を果たすのが質問です。
相手の考えを理解するための質問と、その他の質問とのちがいは？

そもそも相手の考えを理解するってどういうこと？ハワイ大学のトーマス・ジャクソン教授が考案した Good Thinker's Toolkit を通して、相手の考えの本質に迫り、思考を深める質問とはどのようなものが学びましょう。

質問のポイントを知っただけでは、質問力は身につけません。
対話の流れのなかで学んだことを活かすには、実践練習が大事です。
国内外で考案された質問ワークを通して質問役と答え役を体験しながら、自分の質問の癖や、みんなが陥りやすいうっかりポイントの回避法などを実践的に学びましょう。

「あれ？いま、なんの話？」、「たくさん論点が出てきて、まとめきれない!!」と感じたことはありませんか？街を歩くときのように、コミュニケーションのなかでも迷子になることがあります。そこで、迷子になりやすいポイントと、論点や共有できる問いを見つける「対話の地図」の描きかたを学びましょう。

② 考えを理解するための質問力1

9/30Sun 14:00~17:00
ゆうあいセンター 中会議室

③ 考えを理解するための質問力2

10/28Sun 14:00~17:00
天神山文化プラザ 会議室1

④ 対話の地図の描き方

11/24Sat 14:00~17:00
ゆうあいセンター 研修室2

⑤ 哲学カフェの進行をしてみよう!

2/23Sat 14:00~17:00
場所は岡山市内を予定

実際に、哲学カフェの進行にチャレンジしてみましよう！
交代で哲学カフェの進行役を体験し、最後に、お互いの進行を参加者としてどう感じたか、進行役として「困った!」と感じた場面などをふりかえりながら、「こういうとき、進行役はどうすればいい?」を学びます。

➤ 受講料 15,000円 (全5回)

岡山特別価格にて実施。初回にお支払いください。

➤ 定員 12名

 先着。原則全回出席できる方対象

➤ お申込み

 下記urlまたはQRコードよりお申込みください。
<http://bit.ly/2L9cu4R>

➤ お問い合わせ

 てつぷら岡山(担当:木下)
tetsupra.okayama@gmail.com

➤ アクセス

- ① ゆうあいセンター
岡山市北区南方2-13-1
岡山駅より徒歩15分
- ② 天神山文化プラザ
岡山市北区天神町8-54
路面電車「城下駅」より徒歩5分



講師 松川絵里 eri matsukawa

1979年大阪府生まれ。大阪大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学。学生時代より哲学カフェの活動をはじめ、臨床哲学研究室のメンバーとともに哲学対話を実践・サポートする団体「カフェフィロ」を設立。大阪大学コミュニケーションデザイン・センター特任研究員を経て、現在は岡山を中心に、カフェ、公民館、社会福祉施設などで、哲学対話や対話セミナーのファシリテーターを務める。共著として、『哲学カフェのつくりかた』(大阪大学出版)、『この世界のしくみ 子どもの哲学2』(毎日新聞出版)など。毎日小学生新聞で「てつづくカフェ」連載中。



➤ てつぷら岡山について

主に岡山で「地域の中で生きる哲学」をめざし、哲学対話を実践していく団体。普段生活する中で、ふと疑問に思ったりモヤモヤ感じたりすることをすくいあげ、様々な人が対等な立場で話し合える場を、まちなかにつくりたい! という思いから哲学対話好きの有志が集まり始めました。哲学対話を通して、一人ひとりが自由に、多様な価値観を持ち、共に対話できる社会を実現できればと思っています。岡山ESDプロジェクト参加団体。カフェフィロパートナー会員。

Philosophical
practice
in Okayama

